



5年生が秋吉台青少年自然の家に、1泊2日の宿泊学習に行きました。6年生の修学旅行に続き、宿泊学習も今年から佐山小学校と合同で行いました。

1日目は、長者が森から自然の家までのハイキングの後、入所式を行い、午後は野外炊事でカレーライスを作りました。なたを使って薪割りをしたり、マッチで火をつけたりと、普段あまり経験することのない活動も順調に行うことができ、どの班もおいしいカレーをいただくことができました。厳しい点検のある後片付けも、みんなで協力してなんとか時間内に終わることができました。夜のキャンドルのつどいでは、火の神を迎え入れて周囲の人々や自然への感謝の気持ちを新たにしたり、ゲームやスタンプ（出し物）をしたりして仲間との交流を深めたりすることができました。

2日目は、スコアオリエンテーリングからスタートです。互いに声をかけて励まし合ったり、コースの相談をしたりしながらポスト（ポイント）を探して駆け巡り、雄大な秋のカルスト台地を満喫しました。午後の退所式では、この二日間の活動のふり返りをしました。代表児童のあいさつでは「ここで学んだ奉仕の心を今後の生活でも大切にしていきたい。」という言葉が聞かれました。

その後、自然の家の先生方に見送られ、宿泊学習最後のプログラムである洞窟探検に向かいました。平景清が身を潜めたという由来を聞いたり、江戸時代に修行僧が書いたといわれる書を見たりしながら洞窟の中を進んでいきました。探検コースの終点では、みんなでライトを消し、1分間じっと黙る「暗闇体験」をしました。いつまで経っても目が慣れることない全く明かりのない世界に、水滴が落ちる音だけが聞こえます。普段は絶対に体験することのできない「暗闇体験」は大成功でした。

佐山小の友達とも交流を深め、15人一人ひとりが一回り大きく成長した素晴らしい二日間になりました。

